



9月号

令和3年9月1日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



『 夢に向かって 』

ふくこうちょう みやだい じゅんこ
副校長 宮台 純子

この夏、史上初の一年延期となった東京オリンピックが開催されました。賛否両論ある中で開催でしたが、いざ始まってみると「すごいぞ！がんばれ！！」の声が大きくなりました。選手たちの姿に胸おどらせ、私たちに夢と希望を与えてくれました。

第1回近代オリンピックは、1896年に平和の祭典としてギリシャのアテネで開催されました。提唱者のクーベルタンは「オリンピックで重要なことは勝つことではなく参加することである」と述べ、人生にとって大切なことは成功することではなく努力することであると訴えました。

第32回となる東京オリンピックでも、卓球や野球など多くの競技で「もう負けてしまう」というところから、粘って逆転勝ちするという試合がたくさんありました。その中でも女子バスケットボールの銀メダルには特に興奮しました。トム・ホーバス監督は、就任したときから「東京オリンピックは金メダルをとる。決勝戦はアメリカと対戦し、日本が勝つ」と宣言して選手を育て続けてきたそうです。身長の高さでは他の国にかなわない日本ですが、「全員バスケット」の組織力で、金メダルという目標の下、負けた悔しさをバネにして勝つための努力を一人ひとりが積み重ねてきた結果の銀メダルだったのです。監督の「スーパースターはいないが、スーパースターだ」の言葉どおり、最高の笑顔の選手たちが印象的でした。

夏休み中に素敵な葉書が学校に届きました。

「星川中央公園の花たちに水やりをしている子がいました。じょうろをもって一生懸命水やり。花だんの花はキラキラ。公園のはっこのハウセンカにまで。みんなに知ってほしくて。ありがとう。」水やりをしていた子と葉書をくださった方の優しさがとてもうれしくなりました。

さて、夏休みと休業期間を終えた星の子たちが学校に戻ってきました。いろいろと制約の多い中ですが、自分の夢に向かって諦めることなく努力しようという気持ちを大切にしてほしいです。そして、ご家庭や地域の皆さんと一緒に「チーム星川」として、これからもずっと応援していきたいと思えます。今後ともよろしく願っています。

☆7月21日付神奈川新聞23面に、1964年の前回東京オリンピックで使用されたポールについての記事が掲載されました。ポールは正門脇にあります。ご来校の際にご覧いただければと思います。

